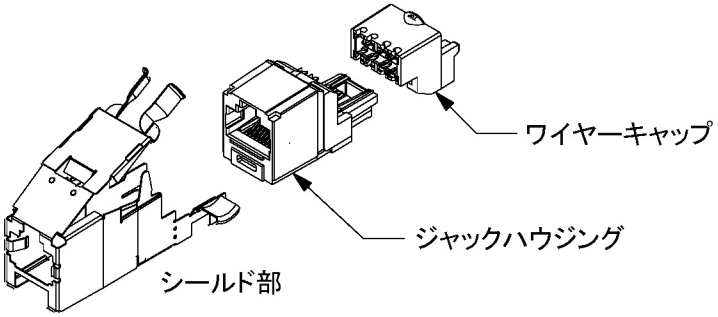
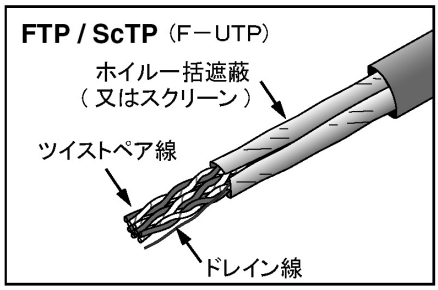
取扱説明書

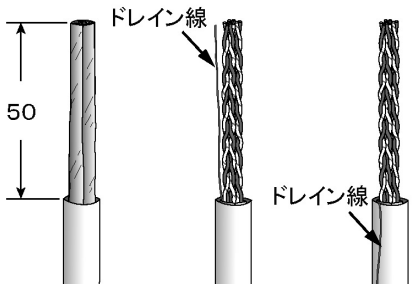
ＴＸスタイルＳＴＰ成端手順

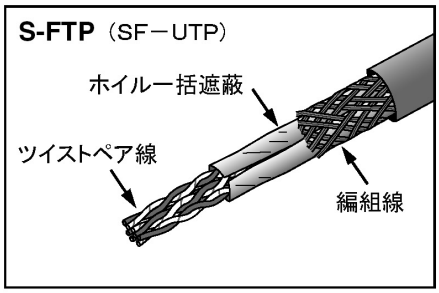


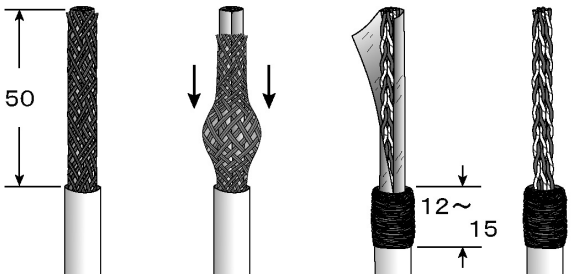
◆部品番号：
ＣＪＳ５Ｅ８８Ｔ
ＣＪＳ６８８ＴＰ

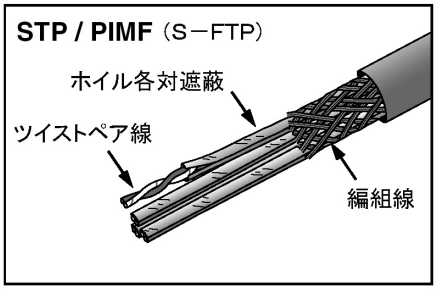
■成端仕様：
- 外被覆の外径は 7.8Φmm 以下のＳＴＰを設定
- 導線径は 0.5～0.65Φmm（24～22AWG）
- 導線絶縁径は 1.22Φmm 以下
- ＩＤＣコンタクトは単線のみ成端が可能
- Ｔ５６８Ａ及びＴ５６８Ｂ結線の成端が可能
- ＣＧＪＴ工具を使用して一括圧接

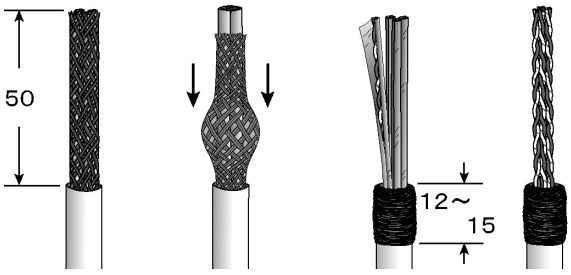












取扱説明書

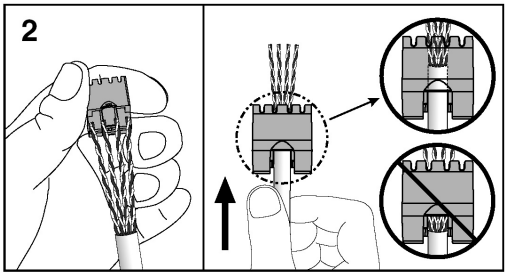
ＴＸスタイルＳＴＰ成端手順

1

T568A	T568B
1. 緑 / 白緑	1. 橙 / 白橙
2. 橙 / 白橙	2. 緑 / 白緑
3. 青 / 白青	3. 青 / 白青
4. 茶 / 白茶	4. 茶 / 白茶

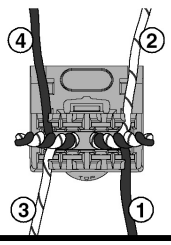
ツイストペア部は３０ｍｍほど確保します。
一旦４対を放射状に開き十字介在がある
場合には根元でカットします。
次に結線仕様に従って対の並び替えを行い
１列に整えます。

2



４対導線の先を細め１列に整えてキャップに挿入します。外被覆の先端がキャップの奥までしっかりと入っている事を確認します。
中途半端な挿入は望ましく有りません。

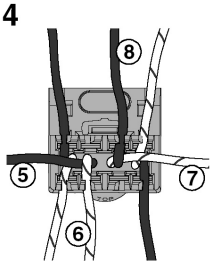
3



T568A	T568B
1. 茶	1. 茶
2. 白茶	2. 白茶
3. 白緑	3. 白橙
4. 緑	4. 橙

図のように①～④の順番に導線をキャップの溝により分けます。より戻しの寸法が最小となるように注意します。
Ｔ５６８Ａ結線で茶、白茶、白緑、緑
Ｔ５６８Ｂ結線で茶、白茶、白橙、橙

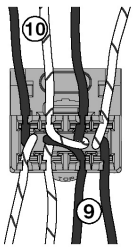
4



T568A	T568B
5. 橙	5. 緑
6. 白橙	6. 白緑
7. 白青	7. 白青
8. 青	8. 青

次は⑤～⑧ですが
⑤を一旦引き寄せ⑥を溝により分けます
⑦を一旦引き寄せ⑧を溝によけ分けます
Ｔ５６８Ａ結線で橙、白橙、白青、青
Ｔ５６８Ｂ結線で緑、白緑、白青、青

5

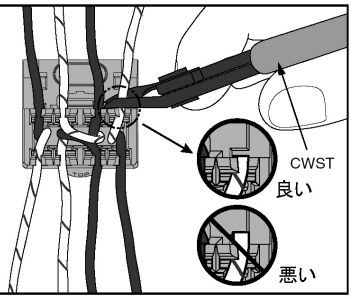


T568A	T568B
9. 橙	9. 緑
10. 白青	10. 白青

その後は⑨と⑩で
Ｔ５６８Ａでは橙と白青を溝に
Ｔ５６８Ｂでは緑と白青を溝に
より分けます。

6

切り残しに注意



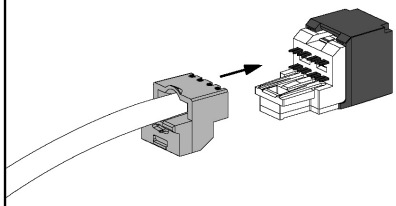
各溝へのより分けが出来ましたら切残しの無いように平らな面の有るニッパで不要な導線をカットします。

ケーブルの予備加工が完了しました。

取扱説明書

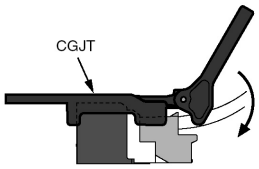
ＴＸスタイルＳＴＰ成端手順

7



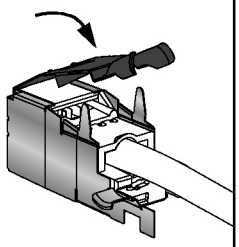
ハウジングにキャップを装着し図のように圧接補助工具（ＣＧＪＴ）をハウジングのトップとキャップの後側にあてがって矢印の方法に動かすと一括圧接されます。

8

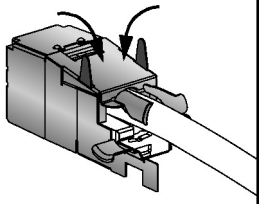


ツイストペア部の結線完了

1

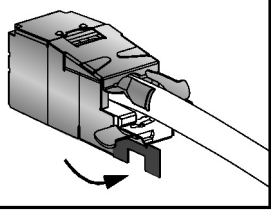


2

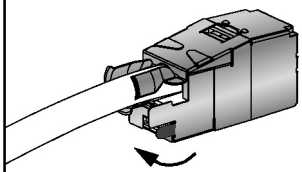


１．シールド部にハウジングを装着し図のように組立てます。
２．ツメ部を内側に折り曲げて上部を固定します。

3

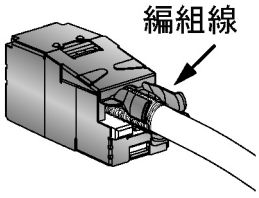


4

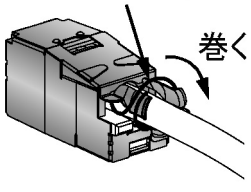


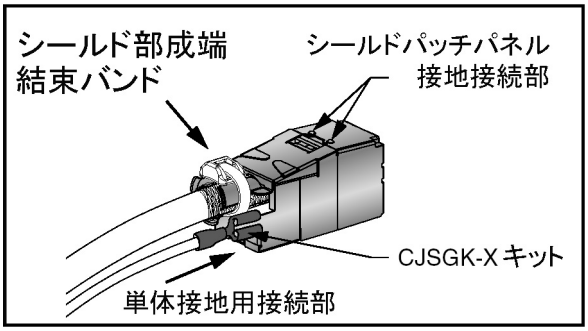
３．小さな二つの丸穴を目印にして内側に折り曲げます。
４．半小判状のツメを内側に折り曲げて固定します。

S-FTP, STP / PIMF,
S-STP / PIMF



FTP / ScTP

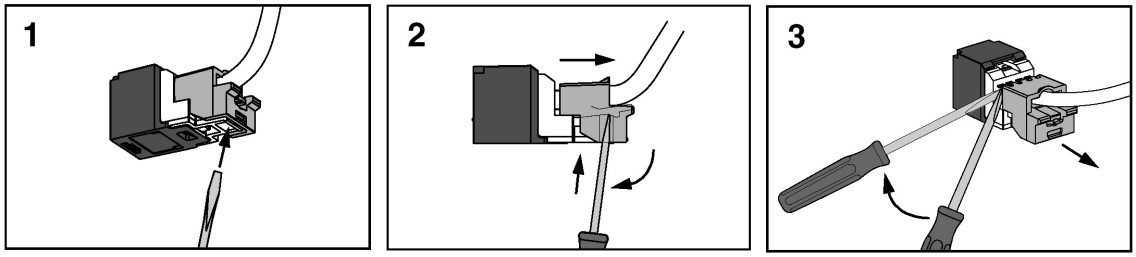




取扱説明書

ＴＸスタイルＳＴＰ成端手順

キャップ取外し手順



注：再成端は１０回以内で同一又はそれ以上の導線径とする

注意事項

下記は弊社製以外の情報配線用の製品についても適用されます。

1.雷発生時の施工は絶対にしないでください。

2.製品が特に耐水、耐湿度に対応して使用可能なものである場合を除き、水に濡れる場所や高湿度の環境においての施工は絶対にしないでください。

3.配線が稼動中のネットワークから物理的に隔離、切断されていない場合、絶縁されていない配線部やコンタクトに絶対に素手で触らないでください。

4.配線の施工や修繕の際は、十分に注意して作業を行ってください。

パンドウイット コーポレーション日本支社

本　　社　〒143-0016 東京都大田区大森北6－31－5　TEL(03)3767-7013 FAX(03)5762-7736
名古屋営業所　〒460-0008 名古屋市中区栄5－22－7 坪井南久屋ビル　TEL(052)242-2381 FAX(052)261-6359
大阪営業所　〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1－16－15 NSビル　TEL(06)6338-1394 FAX(06)6384-0798
大宮営業所　〒337-0051 埼玉県さいたま市見沼区東大宮4-2-8 スズキビル　TEL(048)668-0471 FAX(048)668-0551
福岡営業所　〒815-0035 福岡県福岡市南区向野1－5－26－402　TEL(092)552-5400 FAX(092)552-5405

◆ネットワーク製品グループ　ホームページアドレス　http://ncg.panduit.co.jp/